

にじのこ めーる

季刊誌 VOL. 81
2017年9月
特定非営利活動法人にじのこ
理事長 松平 みえ
〒157-0062 東京都世田谷区南烏山 6-3-9
ミールズスキ 603
Tel:03-5314-2488 Fax:03-5314-2544
URL : http://nijinoko.jp
e-mail : mail@nijinoko.jp

INDEX

巻頭言

「ひと夏を過ごして」



理事長
松平 みえ

2017
にじのこ 夏

「実を結ぶ」

デイ給田 須藤 恵子

「春から夏、
そして秋へ」

幼児G 小原 映里

「赤堤の夏休み」

デイ赤堤 奥村ユミ

- にじのこの動き
- THANKS

最後の看取りをした私としてはホスピスの看護師達の専門性と患者への対応姿勢に学ぶことが多かった。今後私も出逢った人と人との関係を大切にして生きていきたいと思っている。

(松平)

「ひと夏を過ごす」

庭の草むらからコオロギやマツムシの鳴き声がにぎやかに聞こえ、すっかり秋めいてきた。今年の夏は猛暑かりをホスピスで過ごし、穏やかに旅立ったら、関東は曇り空、雨模様の中、九州では記録的大雨による甚大な被害がおきた。我が家のあと1ヶ月で18歳になる老犬はあまり暑くないので大半はベランダで過ごし、生き延びてしまった。ゴーヤも今年は葉がよく茂り、時々実がなりゴーヤチャンプルを楽しむことができた。

にじのこの児童発達支援や放課後デイの子ども達、職員、介護サービス利用者の方々もヘルパーさん達も熱中症になることもなく、それぞれの夏を有意義に楽しくにじのこで過ごしたようである。詳細は今回の職員達の報告に譲るが、私自身も家族の看護で6月中旬から約2ヶ月ホスピス病

庭の草むらからコオロギやマツムシの鳴き声がにぎやかに聞こえ、すっかり秋めいてきた。今年の夏は猛暑かりをホスピスで過ごし、穏やかに旅立ったら、関東は曇り空、雨模様の中、九州では記録的大雨による甚大な被害がおきた。我が家のあと1ヶ月で18歳になる老犬はあまり暑くないので大半はベランダで過ごし、生き延びてしまった。ゴーヤも今年は葉がよく茂り、時々実がなりゴーヤチャンプルを楽しむことができた。

にじのこの児童発達支援や放課後デイの子ども達、職員、介護サービス利用者の方々もヘルパーさん達も熱中症になることもなく、それぞれの夏を有意義に楽しくにじのこで過ごしたようである。詳細は今回の職員達の報告に譲るが、私自身も家族の看護で6月中旬から約2ヶ月ホスピス病

れていた。その場所を借りてビニールで水遊びをした。水が苦手で大泣きをしていた子、水遊びを楽しんでいた子達もいた。その子供達も今では中年となり、生活介護施設等で活動の一環としてプール活動を楽しんでいる。

ご本人達は中年となり、少し機能が落ち始めている。また、親達は高齢となっても元気でいる方々が大半だが、わが身もままならなくなっている方、また若くても、我が子を残して、あの世に旅立たれた方、兄弟がいても遠方に居住しており、なかなか介護をできない上、成年後見をつけるにはお金がかかり兄弟も夫の介護や祖父母の介護をしなければならない方と様々である。

種々の制度が出来つつあるが、それに採算性が伴わないと事業として成立しないか、永続できない。社会情勢により、(対北朝鮮問題もあるし、災害対策もある)社会保障は切り捨てられかねない。しかし、効率を追わざるを得ない世界に私は馴染めず、おたおたとしている。死にいく者の最後の看取りをした私としてはホスピスの看護師達の専門性と患者への対応姿勢に学ぶことが多かった。今後私も出逢った人と人との関係を大切にして生きていきたいと思っている。

子供たちの為に何ができるか

藤島 克己



にじのこ サポーターズ 第43回

ボランティアさんからスタッフまでにじのこを支えて下さる方々を紹介しています

Profile

ヘルパーステーションにヘルパーとして5年9ヶ月、デイサービス赤堤の職員として2年半ほど勤務して頂いています。バザーにも毎年ご自分から積極的に声をかけていただき、お手伝い頂いています。また、野球、アメフトなど、小さな頃から運動を嗜んできたスポーツマンでもあります。

にじのこにて活動をさせて頂くようになり、はや五年の月日がたちました。介護福祉士になり四年目となります。ありがたい事にいろいろな子供たちと関わり、色々な事を吸収し、あっという間に月日がたちました。失敗も、それを次に繋げることを考える事ができる場所になっています。小学生の時に関わり始めた子供たちが中学生になり、頼もしい一面を目の当たりにし、これからも色々な場面で喜び、時には悲しみを体験し、共有し、飛躍が出来たらと願っています。

にじのこを築いた子供たちに街で会い、〇〇さんと話しかけると藤島さんと100%覚えていてくれることが素直に嬉しいです。真っ直ぐな目をして話してくれること、頑張っているのだと確信し、私も頑張らねばと強く感じます。にじのこの子供たちには、面白い「にじのこ」の様な存在でありつづき、ご家族の味方となり関わり続けたいと考えています。子供たちのかざらない笑顔は特效薬です。これからも、どうぞよろしくお祈りします。

にじのこの動き

7月

- 1(土) デイ職員会議
- 8(土) トレフルへアカット
- 3(月) げんき説明会
- 6(木) 理事会 部長会 光明学園学校公開 幼児G園外学習
- 7(金) 第一回要保護児童支援烏山地域協議会
- 8(土) トレフルへアカット
- 10(月) 介護ケア会議 赤堤避難訓練
- 12(水) 幼児G避難訓練
- 13(木) 部長会 部課長会 幼児G音楽療法
- 14(金) 北沢エリア自立支援協議会
- 15(土) 給田避難訓練
- 16(日) 「引き算からはじまる発達障害対応」研修
- 18(火) 明大ボランティア講座
- 18(火) ~31(月) 保育実習生受入
- 19(水) バザー委員会
- 20(木) 地域懇話会 PART II
- 21(金) 世田谷区自立支援協議会
- 22(土) 青光学園夏まつり参加 赤堤音楽療法
- 24(月) 幼児G音楽療法 烏山エリア自立支援協議会運営会議
- 25(火) 烏山薬社協 ネットワーク会議 世田谷区マニュアルワーキンググループ
- 27(木) 烏山福祉作業所施設公開



8月

- 5(土) 成人余暇活動支援事業実施
- 5(土)・9(水) 研修グループ/虐待防止のための連続企画第3弾 「あなたのその言葉の使い方! 実! 相手には不快感を与えていませんか?」 ~みんなで考えよう~研修
- 10(木) 幼児G音楽療法
- 12(金) 自立支援協議会マニュアルワーキンググループ
- 19(土) 赤堤音楽療法
- 21(月) 赤堤コヒヤマさんの太鼓作り
- 23(水)・25(金) 「同行援護従業者養成研修」研修
- 24(木) げんき研修
- 28(月) 烏山エリア自立支援協議会運営会議 幼児G音楽療法



8月

- 29(火) 第2回人材確保・人事管理セミナー 「人がイキイキ働く職場へ」研修参加
- 30(水) 「相談支援従事者現任者研修」参加



9月

- 2(土) 赤堤音楽療法
- 7(木) 事業等検討会
- 8(金) 給田小学校公開
- 9(土) デイ職員会議
- 11(月) にじのこ研修会「普通Ⅰ講習-救命講習」開催 介護会議
- 14(木) 理事会 4部門合同会議 バザー委員会 幼児G音楽療法
- 14(木)・15(金) 「相談支援従事者現任者研修」研修
- 15(金) 法人避難訓練
- 16(土) 成人余暇活動支援事業実施
- 21(木) 部長会 部課長会
- 25(月) 幼児G音楽療法
- 26(火)~30(土) 保育実習生受入
- 28(木) 幼児G避難訓練
- 29(金)・30(土) にじのこバザー開催
- 30(土) 成人余暇活動支援事業実施



T H A N K S

皆さまのご支援ご協力
ありがとうございます

- ご寄付 香田恭子様
- ボランティア 重見様 今村様 金子様 守屋様 小倉様 トレフルクラブ様 お話し泉様
- 保育実習生受入 明治大学実習生受入

にじのこバザー

9/29(金)・30(土)

烏山区民センター前
広場

皆さまのご協力
宜しくお祈りします!

「赤堤の夏休み」

デイサービスにじのこ赤堤 奥村 ユミ

昨年の12月からにじのこの職員に変わり、早9ヶ月がたちました。初めて迎えた夏もあっという間に過ぎ去り、もう新学期です。

この夏は全日が一泊プログラムということもあり、私にとっては子ども達と仲よくなる良い機会となりました。まだまだ私が一方的に仲よしだと思っている節もありますが、子ども達と笑顔で過ごした夏は思い出深いものになりました。

今夏は普段は活動のサポートとして活躍している職員たちもプログラムリーダーを担当し、様々な取り組みを行いました。にじのこ動物園（動物の切り絵）、箱の中身はなんだろう（箱の中身を手で触って当てるゲーム）、はかき作り（絵具によるマーブリング）、音楽あそび（プロの生演奏と合奏）、アロマリラックス（香りマッサージによるリラックス）、お話し会（関西弁での紙芝居や英語の歌での手遊び）等、いつもと違う先生の新しいプログラムは、子ども達も思わず身を乗り出して魅了されたようです。こちらは写真とともに、にじのこブログに掲載しておりますので、どうぞご覧ください。



その他の夏の特別プログラムとしてここでは、太鼓作りと私の専門である陶芸をご紹介します。

まず、太鼓作りではアートの専門家を講師に迎え、紙とは思えないクオリティーの太鼓をみんなで作り上げました。図柄はオリジナルや人気キャラクターなど各々の発想で描きあげ、組み立ては糊づけや紐通しを行い仕上げていきました。完成後はみんなが自分で作った太鼓で演奏会をして、大いに盛り上がりました。ドンドン！ダンダン！太鼓の音が鳴り響き、みんなの大演奏は旺盛でした。



陶芸では粘土の手触りを楽しみながら、型どりや手びねりで箸置きや豆皿を作りました。上級生は、陶芸を学校で経験済みの様子で、粘土の扱いに慣れていてすんなり制作に取り組んでいました。

粘土で形を作った後は、乾かして色を付けました。子ども達の制作に取り組む姿は、迷いもなく大胆且つ繊細で、時には巨匠のオーラさえ漂っていて、むしろ私が勉強させてもらいました。改めて子どもから学ぶ事の多さを実感する機会となりました。そして焼上がりは私の腕のみせどころです。しばしお待ちください。今後も陶芸は夏だけに限らず、普段のプログラムにも取り入れて行きたいと思っておりますので、どうぞよろしく願い致します。

夏の振り返り会議では、職員から「普段より長い時間も、プログラムにメリハリがあって短く感じた」「子ども達と深く関わって楽しかった」という声が多く上がりました。子ども達も同じ思いでいてくれたら嬉しいです。新学期からも気を引き締めて、たくさんの学びやあそびを共有していきたいと思っております。ありがとうございました。



2017' にじのこの夏

「春から夏、そして秋へ」

幼児グループにじのこ 小原 映里



年度初めに、今年度の幼児グループはどんな風になっていったらいいかな？と考えた時、「もつと地域とつながって、障害関係だけでなく子育て関係の知り合いが増えていけばいいな」と思いました。ありがたいことに昨年後半より利用者の人数も安定して増えていて、職員にも恵まれ、毎日の活動内容も充実した日々を送れています。でも、一歩外に出て子育て関係団体の方とお話してみると、まだまだ知られていないにじのこ。もつと気軽に相談し合える仲間がなければいいな、と感じていました。

そこでまずは、六月に粕谷区民センターで行われた「第十五回すくすくメッセ鳥山」に参加してきました。鳥山地域の幼稚園・保育園・児童館・社協・子ども家庭支援センター・役所関係・子育てサークル等々：たくさんの方と顔を合わせてお話しする機会を持つことができました。当日は保育施設紹介のコーナーに参加しましたが、他には中高生と遊ぶコーナーや色々なゲーム・制作コーナーもあって、お子さんたちもとても楽しんでいました。来年度も参加する予定ですが、誰でも参加できるイベントなので、ぜひご家族で遊びに来てください。次回は平成三十年六月に上北沢区民センターで開催予定です。

そして、七月には夏の園外学習として地域の大学へ行ってきました。園外学習は例年、春は井の頭自然文化園、秋はよみうりランドへ親子遠足として行っていますが、今年度はさらに卒園生保護者からのご紹介というご縁もあり、夏と冬にも行えることになりました。夏は「スポーツセラピー」で、三十数名

「実を結ぶ」

デイサービスにじのこ給田 須藤 恵子

今年の夏休みプログラムは、7・8月合わせて32日開所、延べ人数348人、一日平均利用者数は10.8人でした。利用時間が10:15~16:00となり、お昼ごはんはカレーを作ったり、お弁当やおやつを買いに行き自分でお金を支払う等、子どもたちはいろいろな体験をして、興味・関心が広がったようです。

最初はセミをみかけると飛び上がって逃げていた子が、夏休みの終わり頃になると、網をもって庭でセミ取りをしたいとせがみ網にかかったセミをそーっとのぞきこんで近づくことができるようになりました。ひとつの行動でいろいろな気持ちを表していた子が、喜怒哀楽をはっきりと表現し、甘え方も上手になってくるなど、一緒にいる時間が増えたことで職員がじっくり関わることができました。



普段あまり会うことがなく、以前は遠慮がちに庭でキャッチボールをしていた小学生と中学生が、大学生のボランティアさんをおしゃべりしながらおしゃべりに花が咲いたり、そこに何人かの子が集まってふざけ合ったりと、他愛ないやり取りの中でこころのキャッチボールができた場面もありました。思春期に入った子どもたちが一番求めている「ともだち」という関係が、少しずつ育まれていく様子を見てまた元気をもらいました。

「いつも子どものことが頭に浮かぶ。実を結んでいるのかなと思う。」とおっしゃっていた保護者の方の言葉を時々思い出します。私も同じ思いです。6年前の震災後、にじのこの庭に一本の白桃の苗木を植えました。春には綿のようなきれいな花が咲くようになり、この夏は中ぐらゐの実を5・6個つけています。また来年の春、白い花がたくさん咲くのを楽しみにしています。